

第4学年1組 総合的な学習の時間 学習指導案

指導者 吉岡 真理子

1 単元名 2分の1成人式をしよう

2 単元について

本単元では、10歳という節目を迎えた児童が2分の1成人式を計画、実行することを通して、自分自身を振り返り、自分の成長に関わってきた人の存在に気付き感謝の気持ちを持つとともに、自分の成長や良さがわかり、自分に自信を持つことができるようになることや、自分の将来を考えることを通して、将来への夢や希望を持つことができるようになることをねらいとしている。

3 単元の目標

- 成人式や2分の1成人式について情報を収集したり、今での自分を記録した「自分物語」を振り返ったりすることで、これまでの自分の成長がまわりの人に支えられてきたことを理解することができる。 (知識及び技能)
- 2分の1成人式について集めた情報や自分たちが伝えたい内容を整理して、感謝や成長を伝える内容や表現方法について考え、自分の成長や良さに気が付くことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 友だちと協働して、2分の1成人式の準備や発表に取組もうとする。
- これからの自分のよりよい生き方を考えたり、将来の夢を持ったりしようとする。 (学びに向かう力、人間性)

4 単元指導計画 (全22時間)

過程	時数	○主な学習活動 (内容)	◇主な評価規準
導入	2	1 成人式や、2分の1成人式について調べ、その意義を理解し、単元の見通しを持つ。	◇成人式の意義を調べ、理解することができる。【知・技】
	1	2 2年生で作成した「自分物語」を基に、これまでの自分の成長を振り返る。	◇自分の成長や家族の関わりをより深く理解することができる。【知・技】
展開	1	3 2分の1成人式でお家の方に伝えたいことを考える。	◇2分の1成人式の意義に沿った内容を見いだすことができる。【思・判・表】
	2	4 家族に対して成長や感謝の気持ちを伝える方法を考え、話し合う。【本時】	◇友だちの意見を取り入れ、感謝の気持ちや自分たちの成長を伝えるために適した表現方法を見出すことができる。【思・判・表】
	1 1	5 役割分担を決め、準備や練習をする。	◇お互いの良さを尊重したり、表現を工夫したりして、より良いものをつくろうとする。【主体的】
	2	6 2分の1成人式を行う。	◇伝えたい気持ちを表現することができる。【思・判・表】
終末	3	7 単元の振り返りをする。 ○ 2分の1成人式を振り返る作文を書き、自分のこれからの生き方について考える。	◇本単元の学習を通して、これからの自分の生き方や、将来の夢の実現のためにできることを考えようとしている。【主体的】

5 本単元における小中一貫の視点

(1) キャリア教育の視点 (キャリアプランニング能力)

本単元において、2分の1成人式の計画と実行を通して、将来の夢や希望を持つことができる。

(2) 9年間を通した系統性について

本単元は、第2学年『あしたへつなぐ自分たんけん』を発展させたものである。
また、第6学年『夢を語る会』、第9学年の『立志式』の学習へとつながっていく。

6 本時

(1) 主眼

- 2分の1成人式に向けた話し合いを通して、自分たちの成長とこれまで自分に関わってくれた方々への感謝の気持ちを表すための方法を決定することができるようにする。

(2) 展開

段階	学習活動・内容	○指導上の留意点 ◇評価規準(方法)	配時
課題設定	1 前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認する。	○話し合いの目的を明確にすることができるように、電子黒板で前時までの流れを提示して確認する。	5
	めあて 「2分の1成人式」で、感謝の気持ちや自分たちの成長を伝える方法を考え、話し合いで決めよう。		
課題設定	2 司会グループが話し合いの内容を確認する。	○学級全体が話し合いの流れを把握できるように、司会グループに流れを確認させる。	5
	【議題】「2分の1成人式」をしよう 2月3日(金)5.6時間目 【話し合いの柱】感謝の気持ちや自分たちの成長を伝える方法 【理由】「2分の1成人式」で、感謝の気持ちと10才になる自分たちの成長を伝えて、家族に喜んでもらいたいから。		
学び合い	3 議題について話し合い、決定事項を確認する。 (1) 自分の意見をロイロノートに書き、提出箱に送る。 (色分けの例) ピンク…手紙 水色…出来るようになったこと (劇、ペープサードなど) 緑…スピーチ 黄色…リコーダー 白…その他 (2) 考えと理由を交流する。 (話し合いの視点) も 目的に合っているか み 皆で力を合わせてできるか じ 実際にできるか (3) 決定事項を確認する。	○友だちの意見と比較検討しやすくするため、付箋の色を分けて意見を入力させる。 ○提出された友だちの考えを見る時間を確保することで、友だちの考えを把握したり、自分の考えを再検討したりして、活発に話し合えるようにする。 ○発表の際には、考えと提案理由に沿った理由を述べさせる。 ○少数意見にも目を向け、折り合いをつける話し合いが出来るように助言する。 ○決まった内容と、内容が話し合いの視点に沿ったものであることを確認させる。	30
振り返り	4 話し合いを振り返る。 (1) Google Formで自分自身の発言や態度を振り返る。 (2) 教師の話聞く。	○次時からの活動の意欲につながるように、話し合いでの良かった点を称賛する。 ◇友だちの意見を取り入れ、感謝の気持ちや自分たちの成長を伝えるために適した方法を見出すことができる。 【思・判・表】	5